

瓦礫類一時保管エリアA1の破損について

平成27年2月23日
東京電力株式会社



東京電力

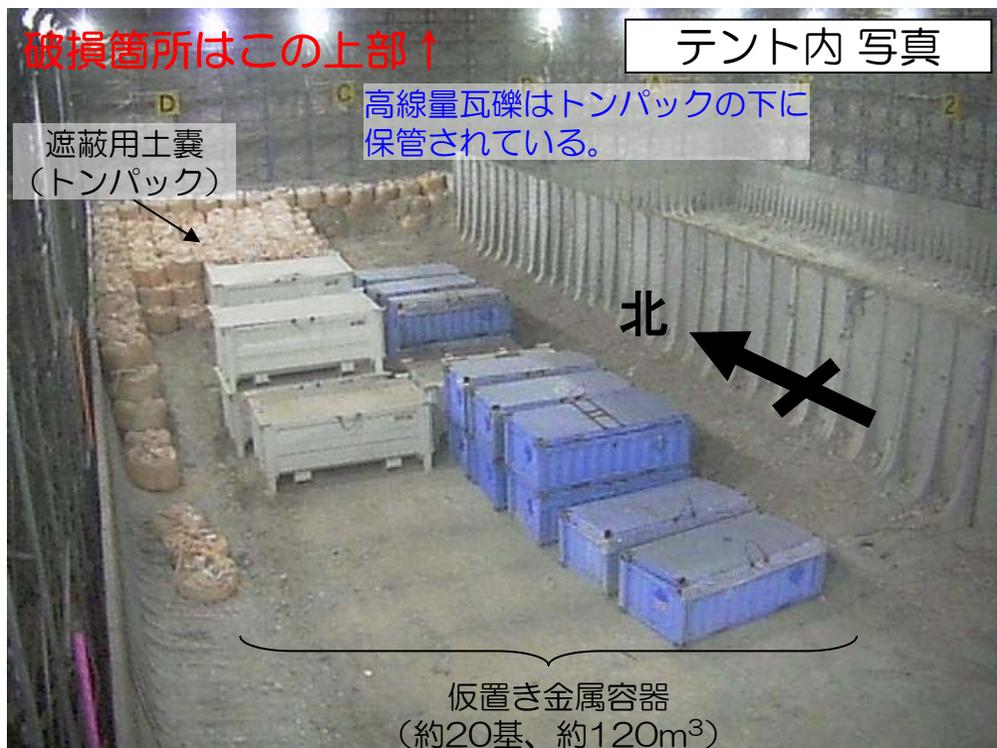
1. 事象概要および発生場所

- 2月16日10:03頃、当社のパトロールにおいて、瓦礫類一時保管エリアA1（Aテント）の上部シート（約14m×約3.6m）が破損しているのを、当社社員が発見。
- 破損原因は調査中だが、2月15日の強風によるものと推測。



2. 瓦礫類一時保管エリアA1（Aテント）状況

- 瓦礫類一時保管エリアA1（Aテント）には、高線量の瓦礫（30mSv/h未満）に遮蔽を行って一時保管している。
- 保管容量2,400m³のうち、現在の瓦礫保管量は約20m³である。
- テント内には遮蔽用の土嚢（トンパック）の他、瓦礫入りの金属容器を仮置きしている。



瓦礫部分シート養生
完了状況 (H27.2.20)

3. モニタリング状況

■敷地境界MP（線量率）

MP1：1.9 μ Sv/h前後（有意値変動なし）

MP2：3.6 μ Sv/h前後（有意値変動なし）

■敷地境界MP（ダスト）

MP1、MP2における連続ダストモニターの値は有意な上昇なし

■テント入り口付近の線量率

0.16mSv/h（2/10） → 0.14mSv/h（2/16）：変動なし

■テント内外ダスト濃度

テント内：3.1 $\times 10^{-5}$ Bq/cm³（（Cs-134）6.7 $\times 10^{-6}$ Bq/cm³、
（Cs-137）2.4 $\times 10^{-5}$ Bq/cm³）

テント外：検出限界値未満

（検出限界値：（Cs-134）1.8 $\times 10^{-6}$ Bq/cm³、
（Cs-137）2.8 $\times 10^{-6}$ Bq/cm³）

4. ダスト飛散抑制対策及び監視方法

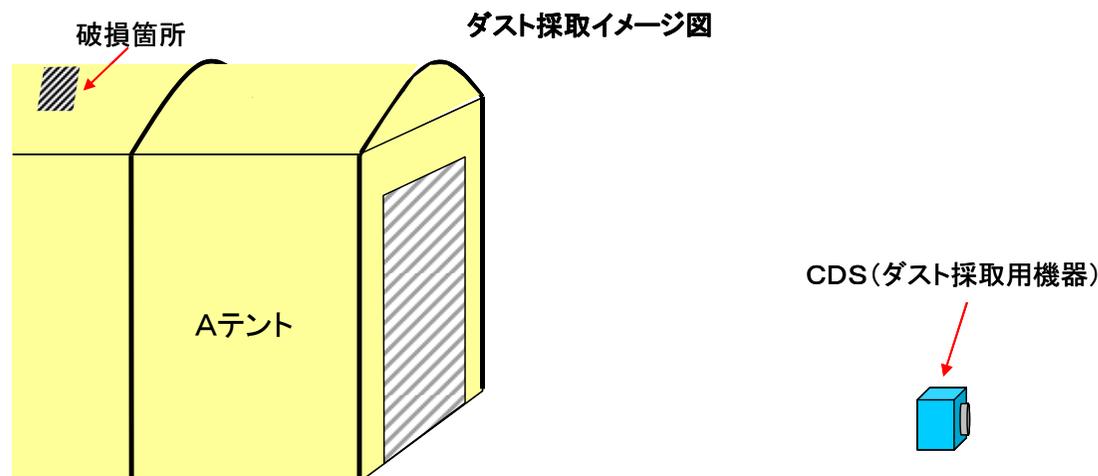
■ダスト飛散抑制および地下水への移行対策

- ・ Aテント内保管瓦礫のシート養生実施（2/20）
- ・ Aテント内地面についてシート養生実施（今後10日程度で養生予定）

■ダスト監視強化【2/19より実施】

- ・ Aテント入口前（定期測定ポイント）にてダスト採取
→Aテント内保管瓦礫及びAテント内地面のシート養生完了まで1回/日（雨天時を除く）
→2/19～2/22 までの測定結果では検出限界値未満。

※有意な値が検出された場合は、核種分析も実施



【参考】構内ダスト監視箇所

- 全面マスク省略可能エリア監視用連続ダストモニタ
- 作業監視用連続ダストモニタ
- 敷地境界近傍連続ダストモニタ

